

明日開幕 高校野球秋季地区予選 注目校紹介

小海 14人 で県切符を

◇小海メンバー◇
監督＝野満俊太郎(30)
投手＝野満俊太郎(30)
捕手＝永純(27) 副監督＝野満俊太郎(30)
一塁手＝後藤(27) 二塁手＝野満俊太郎(30)
三塁手＝飯浅(27) 遊撃手＝木村(27)
四塁手＝依田(27) 外野手＝依田(27) 三浦(27)
内野手＝依田(27) 三浦(27) 三浦(27)
投手＝依田(27) 三浦(27) 三浦(27)
捕手＝依田(27) 三浦(27) 三浦(27)
◇主将◇
野満俊太郎(30)

一丸となって県大会進出を目指す小海
ナイン ⑤安定感抜群のエース飯出

あす31日に開幕する高校野球秋季地区予選で小海が14年春以来9年ぶりの県大会出場を狙っている。夏の経験者6人が残ったチームは14人少人数ながら、今月上旬の予備戦でシート権を獲得、強豪がそろった県地区ながらエース飯出(2年)を軸に選手自ら考える戦いで2個の目標をつかみ取る。

予備戦を連勝 シート権獲得
過去最高の秋にする。1984年創部の小海が県大会に進んだのは2013年秋と14年春の2度。秋は代表枠6で13年は敗者復活代表決定戦で切符を得ており、今回は「東信ベスト4」を目標に掲げる。野満監督は「本人たちが、ベスト4で県大会に出ないとシート権の意味はない」と決めた」と頼もしく語った。

エース飯出軸に東信4強目標
練習に励む野満監督(左) ボードを使って選手に説明する野満監督(左)

飯出(2年)は、1年生のころからエースの素質を認め、エース飯出(2年)を軸に選手自ら考える戦いで2個の目標をつかみ取る。飯出は、1年生のころからエースの素質を認め、エース飯出(2年)を軸に選手自ら考える戦いで2個の目標をつかみ取る。

「考える」大切に
小海の練習は授業の延長だ。就任4年目の野満監督は「アタックタイプラインク。考えることが大事」と説明する。ボードを使って意図を確認しながら上段を取り組む練習メニューは、ワフレイコートに修正点を確認しながら進む。グラウンドでは頻りに「コミュニケーション」を繰り返す。ボートを使って意図を確認しながら上段を取り組む練習メニューは、ワフレイコートに修正点を確認しながら進む。グラウンドでは頻りに「コミュニケーション」を繰り返す。

少数精鋭で強豪倒す!!